

北海道NPO情報



NPO推進北海道会議
北海道NPOサポートセンター
北海道NPOバンク/NPOバンク事業組合
北海道NPO越智基金

発行 北海道情報宣伝研究会
札幌市中央区北4条西12丁目
1976年7月9日第3種郵便物認可
定価100円

【2006年1月号】

市民活動を支える制度を強化しよう！

もくじ	ページ
「協働環境調査」報告会	2
北海道コミュニティビジネス協議会/白いりボン運動	3
コミュニティ・ビジネス起業就業相談会	4
若年者対象 社会参加講習会	5
コミュサポ/コラム	6
研修日記/法人数/会費納入案内	7
NPOバンク理事長メッセージ/融資案内	8
会計講習会(1月)案内/指定管理者制度勉強会	9
NPOサポート事業紹介	10
NPOな~インフォメーション/助成金情報	11~12

謹賀新年



新年を迎えて

NPO 推進北海道会議 代表 田口 晃

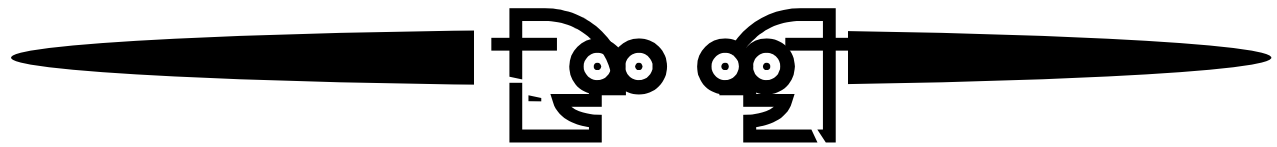
実物経済の数十倍のマネーが動き、アメリカの一人勝ち誇りが目立ってからもう久しくなります。昨年も、「金利生活者の経済学」(プーリン)が幅を効かし、ホリエモンだ、三木谷だポイズン・ピルだと騒ぐ一年でした。しかし、その所為で、実は大切なことが見えにくくなっているのではないのでしょうか。大げさなようですが、人類全体のこれからの見通しです。

ものづくりの比重が下がり、対人サービスが人間の社会活動の中心になりつつあること、それから政府・行政の役割が変わりつつあることは動かしがたいとして、その中身はマスコミ、取り分けテレビや政治家のやる単純な二分法には納まりきりません。少し目を凝らせば本当に多様、多彩な動きがあることはみなさんが実感されている通りです。

「官から民へ」と言っても民にも色々あるわけで、金もうけに狂奔する「起業家」が中心と言うわけではありません。さらに、「民」の重要部分を占めつつあるNPOにしても今や多種多様になっているのが実情でしょう。職場で政治学入門を講じる必要上、昨年は珍しく新聞の切り抜きをこしらえてみたところ、二日に一つはNPOが取り上げられているのに驚きました。NPOに対するニーズも、自分たちでNPOを立ち上げて世の中を良くしたいと考える人も実に多いということでしょう。他面、官製公益法人が槍玉に挙がり、改革が進むと、新たに官製NPOらしきものすらちらほら姿を見せてきたようです。NPOは花盛りなのです。

こうしたNPOが活躍しやすい制度条件の整備を進めることと、それぞれの活動を充実させることが今年も私たちの課題と言えましょう。NPO活動を通じて、私たちはマネー・ゲームの支配する世界よりももっと多様で、深い世界を、つまりもっと豊かな世界をつくり出しているのです。そうして、NPOが行政、企業の競合・共存・共栄する状況こそが世界中で進んでいる21世紀の人類世界の展望なのです。新年を迎え、改めて少し広い視野と復初の精神を思い起こすのも精神衛生によるしいのではないのでしょうか。





「協働環境調査 報告会 in 札幌」

～ よりよい協働を生み育てる環境はどこまで進んだ？ ～

日時 2006年1月13日(金) 14:00～17:00(開場13:30)
会場 北海道NPOサポートセンター札幌ビル8階研修室
(札幌市中央区北5条西6丁目、JR札幌駅徒歩5分)
定員:30人(先着順) / 参加費:2,000円

* 報告会当日は、報告書を6000円で販売しています。(一般販売価格6300円)
* 報告書をすでに入手されている方は必ずお持ちください。

こんな人はぜひ参加を! NPO関係者(自治体との協働事業を実践している方、これから協働事業に取り組みようとしている方、自治体との協働に関心のある方、協働関連施策の各種委員等に携わる方等) 近隣地域の中間支援組織、社会福祉協議会関係者

特に

協働担当自治体職員のみなさま必見! です。

近年、NPOと自治体との「協働」については、理念や考え方の整理が進み、具体的な実践も徐々に進んでいます。しかし一方で、協働のルールやしきみが不十分なために、本来あるべき協働に結びついていないことも少なくありません。そこで、本来あるべき協働を実現するための基盤となる「協働環境」は、どれだけ整っているのかについて、全国の都道府県と主な市・区(計210自治体)の現状を、全国26か所の市民活動支援センターのご協力を得て、「第2回都道府県・主要市におけるNPOとの協働環境に関する調査」としてまとめました。この調査報告書をもとに、全国や地域の現状や、昨年から今年への変化など、協働環境の最新動向を報告し、課題を共有する報告会を、下記の通り開催します。また、2005年9月にオープンした公益情報ポータルサイト「CANPAN」(運営:日本財団)の紹介も併せて行います。よりよい協働をめざし、今後の協働環境づくりに関心を持つみなさまのご参加をお待ちしています。

- 内容:(1)調査概要報告、質疑応答
(2)CANPANのご紹介
(3)ワークショップ「よりよい協働環境を実現するために」
(4)補足解説など

報告者: **川北秀人** 人と組織と地球のための国際研究所(IIHOE)代表
芝原浩美(同 上級研究員)、松本公洋(北海道NPOサポートセンター 本調査担当)

主催:北海道NPOサポートセンター

共催:IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 市民団体の運営や自治体の協働環境づくりなどを支援するNPO。
昨年、この調査を独自に企画・実施。http://www.iihoe.com

お申込み方法(先着順):お名前・ご所属団体名・役職(担当業務)・連絡先ご住所・電話番号・FAX・Eメールアドレスを担当者まで、EメールまたはFAXにてお申込みください。

問い合わせ / 申込先

特定非営利活動法人 北海道NPOサポートセンター

TEL.011-271-5208(担当:松本)FAX.011-281-8807 Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

北海道コミュニティビジネス協議会設立記念講演会

地域社会への貢献とビジネスを両立した「コミュニティビジネス」で北海道を活性化するため、NPO 中間支援組織、ビジネス支援団体、金融機関が集まり、北海道コミュニティビジネス協議会を設立することになりました。

北海道コミュニティビジネス協議会の設立を記念し、北海道でもお馴染みの川北秀人氏の講演会を開催します。

コミュニティビジネスの実践者で支援を受けたい方、コミュニティビジネスの支援者、これからコミュニティビジネスで起業したい方のご来場をお待ちしております。

講演者 川北秀人氏（人と組織と地球のための国際研究所代表）
講演テーマ 「コミュニティビジネス支援と地域活性化」+ 意見交換会
会場：札幌学院大学社会連携センター（札幌市中央区大通西6丁目）
日時：2月2日（木）18時～20時（予定）

参加費：無料

参加申込 FAX、メールに、氏名、住所、連絡先電話、FAX、メールアドレス、所属団体などを記入の上、下記までお申し込みください。

FAX . 011 - 281 - 8807 Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

問い合わせ：TEL . 011 - 271 - 5208（担当：松本）

2006年「白いいりボン運動」の取組について～民が民の社会貢献活動を支える仕組みを！

神戸の白いいりボン運動実行委員会（代表：岡本仁宏（関西学院大学法学部教授））から次のような呼びかけがあります。「2006年白いいりボン運動への参加を呼びかけます！」

2005年に市民が市民の活動を支えるために再生した白いいりボン運動は、1、新しい資金配分の流れを生み出し、また、2、広範な人々の理解と協力のネットワークを作り上げること、に成功しました。2006年は、この成果をもとに、下記の方針で展開いたします。皆様の積極的なご参加を呼びかけます。

1. 昨年度の運動の成果

2005年の募金活動は、事務局で把握しているだけでも、400近い団体個人の参加、全国37都道府県、総額で¥6,299,174の募金を集めました。そのお金から、独立の配分委員会の公正で真摯な審査を経て、40団体に対して総額¥4,000,000を助成しました。当初の配分方針どおり、緊急災害支援をするNPOや「災害弱者」を普段から支える活動をしているNPO、さらに地道な市民活動を行っている様々な領域のNPO等への助成です。ホームページにおいて情報公開をしております。

2. 2006年の運動方針と重点

（1）2006年運動の方針 白いいりボン運動は、2005年の運動の基本方針を維持します。

白いいりボン運動は、1、祈念、感謝、創生という三つのコンセプトを継承し、さらに、2、日常の人のつながりと自治の営みの大切さを重視し、3、NPO法人に対する幅広い民間募金の通路としての取組を行い、この運動を通じて、4、NPO法人を中心とする新しいNPOの社会的プレゼンスの向上、を目指します。

2006年度の重点方針

1. 地域での民間社会貢献活動を持続的に支援する仕組みを発展させよう。

この方針は、地域でのNPOをはじめとする民間非営利社会貢献活動を継続的に支援できるような地域での資金や人の善意の流れをきちんと組織化する、そのためのツールとして白いいりボンを位置づけようということです。具体的には、地域での既存コミュニティ・ファンド、信託基金、奨学金など多様な民が民を支援する組織をネットワークし（「コミュニティファンドネットワーク」）、さらに新しい民間寄付の幅広い受け皿となれるような包括的なコミュニティ・ファンドの形成を支援するというものです。白いいりボン運動が、「民が民を支援する」シンボルとして、多くのNPO、さらにその支援ファンドの共同行動として取り組まれるようになっていきたいと思います。」

全国実行委員からの呼びかけを受け、北海道実行委員会（委員長：樽見弘紀北海学園大教授）では、今年度も、イベント会場や、NPO事務所等で募金を呼びかけることし、集まった募金は、全国実行委経費分を除き、全額を「北海道NPO越智基金」に寄付し、NPO越智基金のNPO助成制度の枠組みで助成配分原資の一部として活用することとしました。

多くのみなさまのご理解とご協力をお願い致します。



厚生労働省委任 北海道コミュニティビジネス協議会準備会連携

コミュニティ・ビジネス支援起業就業相談会開催!!

コミュニティ・ビジネスは、行政や企業だけでは解決できない地域の課題を解決する手法で、地域を活性化させる手段としても有効ですが、コミュニティ・ビジネスを立ち上げたい方や運営上の悩みをかかえるみなさんのために相談会を実施します。

「コミュニティ・ビジネス起業支援相談会」(無料)

【相談日時・内容・担当者】

- 第1回 1月19日(木) 10:00~12:00
起業・経営相談(小林委員、佐藤委員)
- 第2回 1月19日(木) 13:00~15:00
税務会計相談(瀧谷委員(税理士))
- 第3回 1月26日(木) 10:00~12:00
社会保険労務管理相談(小神委員(社会保険労務士・行政書士))
- 第4回 1月26日(木) 13:00~15:00
法人登記、権利義務関係相談(大滝委員(司法書士))
- 第5回 2月 2日(木) 10:00~12:00
事業・組織運営相談(小林委員、佐藤委員)
- 第6回 2月 2日(木) 13:00~15:00
起業・経営相談(河西委員(札幌学院大学教授))
- 第7回 2月 9日(木) 10:00~12:00
資金繰りや会計事務(北村委員、事務局 小沼専門員)
- 第8回 2月 9日(木) 13:00~15:00
NPO 法人設立・運営(小林委員、山本専門員)
- 第9回 2月16日(木) 10:00~12:00
就業規則や賃金規程(事務局 松本専門員)
- 第10回 2月16日(木) 13:00~15:00
IT 利用促進(事務局 東川専門員)

場所/北海道NPOサポートセンター

(札幌市中央区北5条西6丁目2 札幌ビル8階 札幌駅から西へ徒歩約5分)

お問合せ・お申込み/北海道NPOサポートセンター・相談センター

裏面の相談会申込に関する必要事項をお書きになり、FAXにてお申込みください。

TEL. 011-271-5208 (担当:松本)

FAX. 011-281-8807

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

締切/各相談会の前日まで(先着順) 1つの相談会につき2~3団体限定です。

主催/NPO法人 北海道NPOサポートセンター

コミュニティ・ビジネス支援委員

河西邦人 札幌学院大学大学院教授 (委員長) / 佐藤隆 NPO 推進北海道会議事務局長 / 大滝和子 司法書士 / 瀧谷和隆 税理士 小神英男 社会保険労務士・行政書士 / 北村美恵子 北海道NPO越智基金事務局長(貸金業務取扱主任者) 小林董信 北海道NPOサポートセンター事務局長

コミュニティ・ビジネス支援事務局専門員(6名)

総括責任者 小林董信 / 実施責任者 松本公洋
会計支援 小沼千佳子 / 法人設立・運営支援 山本純子
IT支援 東川佳子 / 金融相談 北村美恵子



厚生労働省委託事業 / 北海道コミュニティビジネス協議会準備会連携

若者対象 コミュニティビジネス支援

起業就業講座開催!!

自分らしく
働きたい

今までにないサ
ービスを生み出
したい

コミュニティ・ビジネス(CB)は、行政や企業だけでは解決できない地域の課題を解決する手法で“まちにやさしい仕事”とも呼ばれています。

効率や経済成
長のみを追い
求める経済シ
ステムってど
うなんたら

地域の役に
立ちたい

「社会参加講習」会の開催

若年フリーター等対象。(対象者についてはお気軽にお尋ねください)
コミュニティ・ビジネス支援委員等による講習。(見学、ワークショップ、座学等)

第2回 2月11日(土)・12日(日)

【カリキュラム】

土曜日 10:00~16:30(予定)

アイスブレイキング / CB・NPO入門

松本専門員他

CB・POWER ツアープラス1(現地視察とCB代表者との座談会)

(貸切バスにて、札幌市内で活躍中のさまざまな分野のCBを見学します)

日曜日 10:00~16:30(予定)

1時限目 アイスブレイキング / CBやNPOでの起業・就労について

松本専門員他

2~3時限目 講義 / コミュニティ・ビジネスで自分を変えよう、社会を変えよう

河西委員(札幌学院大学教授)

4~5時限目 講義 / 思いをかたちに 事業趣旨と事業計画モデル

小林委員、松本専門員

6時限目 講義 / 「起業・就業「働く」ということ」

佐藤委員(NPO推進北海道会議事務局長)

カリキュラム等は変更する場合がございますのでご了承ください。

場所 / 中央区民センター(会議室A)

(札幌市中央区南2条西10丁目 地下鉄東西線「西11丁目駅」から南へ徒歩約5分)

お問合せ・お申込み / 北海道NPOサポートセンター・相談センター

住所・氏名・年齢・連絡先等をFAXまたは、Eメールにてお送りください。

TEL. 011-271-5208(担当:松本)

FAX. 011-281-8807

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp

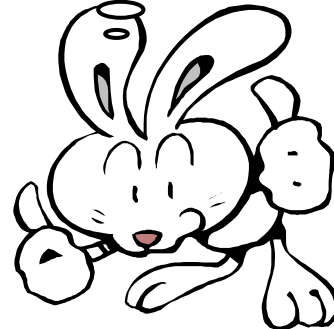
受講料 / 無料

定員 / 30名

締切 / 定員になり次第(先着順)

主催 / NPO法人 北海道NPOサポートセンター

コミュニティ・ビジネス
を見てみよう!



コミュニティ・ビジネスに関する
相談窓口も開設中!!(無料)

TEL. 011-271-5208

コミュニティ・ビジネス支援委員

河西邦人 札幌学院大学大学院教授(委員長) / 佐藤隆 NPO推進北海道会議事務局長 / 大滝和子 司法書士 / 瀧谷和隆 税理士
小神英男 社会保険労務士・行政書士 / 北村美恵子 北海道NPO越智基金事務局長(貸金業務取扱主任者)
小林董信 北海道NPOサポートセンター事務局長

コミュニティ・ビジネス支援事務局専門員(6名)

総括責任者 小林董信 / 実施責任者 松本公洋
会計支援 小沼千佳子 / 法人設立・運営支援 山本純子
IT支援 東川佳子 / 金融相談 北村美恵子





今年もやっています！コミュサポ事業

昨年度札幌広域圏（石狩支庁管内）8市町村で地域サポーター団体13団体とホームページ作成希望の110団体が参加して、コミュサポ事業を展開してきました。今年度は、新たに昨年参加した団体が新しい団体のサポートに廻るといった枠組みで取り組みます。地域のまちづくりを目標に、無料のホームページ作成ソフト「WEB Maker」をツールとして札幌広域圏組合の「コミュサポ」サーバーに市民活動団体100団体のホームページをアップする予定です。

札幌広域圏管内（札幌、石狩（厚田、浜益）、当別、新篠津、江別、北広島、恵庭、千歳の8市町村に所在する市民活動団体対象）の市民活動団体のみなさまへ。

地域で活動するボランティア、市民活動グループ、NPOなどの皆さん、自分たちの活動をホームページで紹介してみませんか？「でも、詳しい知識がないからなあ…」そんな心配はいりません。札幌広域圏組合の「コミュサポ」が、皆さんのホームページ運営を応援します。

コミュサポに参加し、団体のホームページ作りませんか！

昨年度に引き続き「コミュサポ」参加団体を募っています。今年度も6月以降30団体が新たに参加し、140団体がコミュサポサイトを活用しています。管内のより多くの市民活動団体が参加することによって、団体同士の横の連携も模索しています。是非参加してください。

▶ **募集・利用料** 募集团体数:100団体 **利用料:無料**

▶ **参加申込** 「参加団体登録申請書」を参加団体の住所がある各市町村の担当窓口へ、直接持参、FAXのいずれかの方法で提出してください。

「参加団体登録申請書」は各市町村の担当窓口で配布しています。また、北海道NPOサポートセンターホームページからダウンロードすることもできます。各市町村の提出窓口は、札幌広域圏組合事務局までお問い合わせください。

受付期間：2005年5月10日より--100団体になるまで！！

札幌広域圏組合 〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目明治安田生命札幌北一条西ビル3階

TEL：011-290-1313 FAX：011-290-1311

サポセンスタッフの落書きコラム

いや～今年はまだシバれるべ～。と言いつつも、雪が少ないことはとっても楽なのですが。（今のところ）さて、今回は毎年冬に思うことを2点ほど。

ひとつめは大雪時のマイカー通勤。大雪がふった日の朝くらい車を自粛することくらいできんのかねーということ。前夜にテレビで水道凍結の注意を促すテロップを流すのと同じように、「明朝は大雪の恐れがあります。不要不急の自家用車のご使用はおやめください」というようなものを流せないのだろうか。いや、流しても意味はないので、大雪の日は市長が非常事態宣言みたいなものを発令して、マイカーを規制するなど強制力を発動していただけないのでしょうか？

私も車を運転しますが、都心へは公共交通を使っています。一人で車を運転していて、大渋滞を起こしている人たちを見ると腹立たしくてしょうがありません。（これじゃあ誰一人時間に間に合わないべや、緊急車両だって走れないべや、CO2削減も無理だべや、とバスの窓から心の中でつぶやいたりします）

冬の北海道で雪の少ない（今年は多いですが）本州と同じようなライフスタイルをしようとするのが間違いだと思うのですが…。いかがですか？

さて、ふたつめです。ふたつめは、秋頃に始まる行政の委託事業が多いことです。行政が単年度主義なのは理解できます。ですが、もう少し早くスタートさせていただくことはできないのでしょうか？

委託事業なのだから、受託する・しないの自由があるのは百も承知ですが、ミッションに合っている事業を団体の力を存分に発揮して行うには、やはりそれなりの時間が必要です。

今のような制度だと、どうしても年度末までに“終わらすこと”に必至になってしまいます。特に、冬の調査事業などは移動時間がかかり、効率が悪くなります。

もっと早く事業をスタートできる仕組みにできないのかなあ…。どうせだったら、来年の予算編成ではなくて、再来年の予算編成にさせていただいて、4月からスタートできるように。（笑）そんなことしたら、タイムリーな事業ができませんよね。今でもあまりタイムリーじゃない気がするのに…。

大雪の朝はマイカーを自粛する、雪どけとともに事業がスタートできるような仕組みなど、こんな自然に合ったライフスタイルを北海道スタンダードにはいかがでしょうか？

（松本公洋）

NPO研修日記

2005年度 その8



谷口 直子

「食すこと」

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

年末年始はいかがお過ごしでしょうか？

私は、「年末年始は家族で過ごすべし。」との父の考えを尊重(?)して、旭川へ帰る予定です。毎年31日は、夕方から家族そろっておせち料理を食べて、レコード大賞と紅白歌合戦を観て、年越しそばを食べ、除夜の鐘を聞いてから寝る、というパターンです。年が明けて元旦の朝は、お雑煮を食べます。

おせちを大晦日に食べるのは、お正月は来客があり、ゆっくり食べられないからで、父の実家ではずっとそうしてきたそうです。今の家にはそんなに来客はないので、お正月に食べても良さそうな感じもするのですが、まあ、長年続いてきたパターンを今更変えるのも、両親にとってはあずましくないのかもしれませんが。

ところで、みなさんのお宅のお雑煮には、どんな具が入っていますか？私の家のお雑煮は、真ガレイ、高野豆腐、ゴボウ、ニンジン、こんにやくなど具たくさんです。汁気はほとんどなく、別にゆでたお餅をお椀に入れて、その上から具を乗せて食べます。今では大好物ですが、小さい頃は、鶏肉と三つ葉の入った、いとこの家のお雑煮をとてもうらやましく思っていました。家のお雑煮を食べると、ごくたまに魚の骨がのどにささるのがいやだったのと、魚よりもお肉を好きだったというのが、その理由です。

先日、9ヶ月の赤ちゃんのいるお宅におじゃました時に聞いた話なのですが、母乳で育った赤ちゃん、ミルクで育った赤ちゃんでは、身体の固さが違うそうです。触ればすぐにわかるらしいのです。ちなみに、ここの家の息子さんは、かっちり、こっちりしてました。

なるほどなあ・・・、身体をつくる材料は食べ物だということを、再認識！

1日3食、自分の身体をつくる食事を、味覚や値段だけにとらわれずに選びたいものです・・・が、なかなか、欲に克つのも難しいのです。

特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等

内閣府ホームページから <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/npo/data/pref.html>

全国の申請受理数「内閣府・北海道含む」 10月31日現在（内閣府のホームページ）	受理数	認証数	不認証数	解散数
	25500	24001	187	543
道内の申請受理数 10月31日現在（北海道）	受理数	認証数	不認証数	解散数
	948	911	0	22

北海道内のNPO認証状況は道庁HP <http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npo.index.htm>

このニュースは会員のみなさまからの会費で作成し配送しています。2005年度の会費の納入がお済みでない方は、納入をお願いいたします。NPO推進北海道会議/北海道NPOサポートセンターは、北海道内でのNPO活動の促進のため、役割分担して活動しております。主旨をご理解の上、ご参加いただくようお願いいたします。

【NPO推進北海道会議】1995年設立。NPOを広めるための広報活動、フォーラムやシンポジウムなどの開催、NPO市民講座の開催、行政との連携、政策提言活動、情報の提供活動を行っています。

会費 個人一口2,000円 団体 一口5,000円

郵便局口座番号：02760-8-9885 口座名義「NPO推進北海道会議」

【北海道NPOサポートセンター】推進会議の活動をさらに広げることかたちで、1998年3月に設立。推進会議の活動が主にNPOを広めるのに対し、サポートセンターでは市民活動団体からの相談や、法人格取得に関する具体的なアドバイス、NPO法人連絡会の開催、NPO法人の実務サポート等を行っています。

会費 個人一口3,000円 団体一口10,000円

郵便局口座番号：02700-1-62184 口座名義「北海道NPOサポートセンター」

推進会議、サポートセンター両方の会員になって頂いても結構です。（大歓迎です。）

北海道 NPO バンクから新年のメッセージ

ローカルガバナンスの確立へ

北海道 NPO バンク理事長 杉岡直人
(北星学園大学教授)

行政と市民の協働? という呼び声をもとに NPO による地域社会の再生が提起されているようであるが、NPO からはあまり受けがよくない。それは、協働が NPO のミッションにつながらないイメージを与えているためである。NPO のミッションとは、市民に支えられて新たな公共を創り出すところにあるのであって、直接的に行政とともに公共を創り出すというものではないからである。市民に支えられた活動を保障するのがわれわれ NPO バンクである。この点で、NPO バンクは行政の協力を受ける根拠を有している。なぜなら市民社会を支える制度の確立と展開は行政の基本課題であるからである。市民民主主義の台頭は、公共を創り出す具体的な事業を NPO が本格的に着手するところから始まる。東京都麻布十番で開催された第二回全国 NPO バンクフォーラム(2005.12.11~12)は、地域に必要なお金の仕組み<ローカルファイナンス>を取り上げたインパクトのあるイベントであった。なかでも注目を集めたのは、病児保育を手がけているフローレンスという NPO を立ち上げた駒崎君(独身)である。子育てで困っている働く母親を応援するという公共精神?あふれる意欲をもち、かつ周到なりサーチの末に専門家を巻き込み、洗練されたシステムを構築しており、全国展開を目指している(<http://www.florence.or.jp>)。これが株式会社ではなく社会企業として NPO でなくてはならないという彼なりの信念に基づいているところに注目すべきものがある。実は彼は株式会社の代表取締役も経験している。NPO バンクのさらなる発展は、こうした意欲的な経営者を応援するところに要がある。今年は是非とも「NPO バンクの奇跡」(昭和堂)を出版し、北海道の NPO 文化運動を担うにふさわしい活動を進めて、ローカルガバナンスの担い手としての NPO 法人の存在意義を確立したい。

NPOバンク融資申込みのお知らせ

第14回融資	申込開始 1月18日~2月2日 / 融資実行 3月中旬以降
第15回融資	申込開始 4月18日~5月8日 / 融資実行 6月中旬以降

《おねがい》

サポート便りに掲載を希望する手記・情報がありましたら、下記問い合わせ先までご連絡願います。また、NPOバンク事業組合にご加入の方で、住所等に変更があった場合はお手数ですが事務局まで御連絡ください。

NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F 北海道NPOサポートセンター内
TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524
npobank@npo-hokkaido.org http://npo-hokkaido.org/bank_hp/index.htm

1月23日(月)NPO法人市民福祉団体全国協議会(市民協)常務理事の**田中尚輝**さんが来札される予定です。道路運送法80条「福祉有償運送」許可は、移送サービスを実施している福祉NPO法人にとって、事業の存廃がかかる、重要な制度変更です。現在道内では100を超えるNPO法人が福祉移送に携わっています。この機会に全国の「運営協議会」設置事例や自治体のとりくみ、国の動きなどをお聞きしたいと考えています。詳細は未定ですが当日札幌で勉強会を企画致します。詳細は北海道介護NPO連絡会(電話011-271-5208山本)までお問い合わせください。(10ページ参照)

NPO法人会計講座開講のお知らせ

～短期集中4回講座 1月13日開講～

親切丁寧、「よく分かる」と大好評!

毎回ご好評いただいている会計講座のご案内です。簿記の基礎を学び、NPOならではの勘定科目を使った仕訳(振替伝票記入)等の練習問題をやってみます。講習時に使用する会計ソフトは「会計王5 NPO Limited」です。ソフトの扱い方を中心にパソコン入力もたくさん練習します。最終的には決算書を作成し、財務諸表の見方などを学びます。

今回は講習中に、個別質問に対応する時間を用意して、それぞれの団体の事情に合わせたアドバイスができるようカリキュラムを組んでいます。ご参加ください。

日 時 / 第1回 1月13日(金) 18:00～20:00 第2回 1月14日(土) 13:00～16:00
第3回 1月20日(金) 18:00～20:00 第4回 1月21日(土) 13:00～16:00

場 所 / 北海道NPOサポートセンター会議室(札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2階)

講 師 / 小沼 千佳子(北海道NPOサポートセンター会計担当)

定 員 / 8名(最少催行人員3名)

受講料 / 10,500円(税込み、初回納入)

締切り / 1月11日(水) 先着順。(定員になり次第締め切ります。)

参加対象者 / パソコンの文字入力できる方

問合せ・申込み / TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp(担当 小沼・神)

主 催 / NPO法人北海道NPOサポートセンター

指定
管理者
講座

「指定管理者制度とNPO」公共施設の受託にむけて

～ビッグチャンスをつかむために～

全国の公共施設が、指定管理者制度の適用を受け民間委託されつつあります。NPOの優れた企画力やノウハウを生かしつつ、既存法人に競り勝って指定を受け、よりよい運営をするためには、何が必要なのでしょう?

今回は、市民活動の草分け的な存在で、NPOマネジメントの第一人者の田中尚輝さんと、指定管理者制度の民間コンサルタントとして、数々の実績を残している大竹弘和さんを招き、実際の受託例も検証しながら考えます。NPOが公共を担う意義だけでなく、「予算の考え方や組み方」などNPOが苦手としている分野にも具体的にふれる講座です。

日 時 2006年1月24日(火) 18:00～20:30

会 場 札幌市市民活動サポートセンター会議室(北8条西3丁目エルプラザ2階)

参加費 500円(資料代)

定 員 30人(申込先着順)

申し込み先 npoSMNネット

～取り戻そう市民の手に～NPOが公共を担う意義

講 師 田中尚輝(たなかなおき)氏

(特)市民福祉団体全国協議会専務理事、(特)日本子どもNPOセンター常務理事、(特)NPO事業サポートセンター常務理事、(社)長寿社会文化協会常務理事。NPOによる中高年者の事業と組織化の支援をしている。著書に、『ボランティアの時代 NPOが社会を変える』、『実戦!NPOマネジメント』、『NPOビジネスで起業する!』、ほか多数。

講 師 大竹弘和(おおたけひろかず)氏

スポーツシステム研究所・日本体育大学講師。新宿区教育委員会に在職中、地域スポーツの振興や指導者養成を担当、各国のスポーツ振興システムや指導者制度にも精通。著作に「指定管理者制度ハンドブック」、「公共施設の民間委託の可能性」ほか多数。

主 催 日本子どもNPOセンター URL <http://www.kodomo-senter.jp/>

共 催 npoSMN ネット

後援 「指定管理者制度」機構 NPO事業サポートセンター 市民福祉団体全国協議会
市民フォーラム21 長寿社会文化協会 北海道NPOサポートセンター

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位:円,税込)

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。

詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-271-5208

2004.7.1 改定

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料) 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月~6ヶ月)		基本料金	21,000~
NPO 法人代表印	登記に必要な法人代表者印鑑です(送料別)	1本	11,000
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します。	1枚	210
印刷(予約制) 黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は 良心的な印刷所を紹介)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します。 基本料金は製版1枚、紙代込みの場合です。 (厚紙や色紙は少し高くなります。 ご相談ください) A3まで印刷可、10枚以上~(両面は片面の倍)	片面 B5 1,000枚	2,738
		片面 A4 1,000枚	2,738
		片面 B4 1,000枚	3,438
		片面 A3 1,000枚	4,838
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します。(100枚単位) 片面初版代:315円、 両面初版代:525円が別途かかります。	片面 カラー	1,470
		片面 白黒	1,050
		両面 カラー	2,310
		両面 白黒	1,890
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅42cm)に印刷します。	片面のみ	1,575~
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	210
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります。	5枚以上 1枚	4,515
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	63~
介護保険・支援費指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁・市役所提出書類作成、 提出までのサポートを行います。	介護保険 1事業所	10,500~
		支援費 1事業所	7,350~
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします。	1事業所	2,625~

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専門
家会議メンバー等による相談を随時受け付けております。(NPOサポセンスタッフが聞きし専門家にお伝えしま
す)

法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メ
ンバーの専門家のアドバイスをいただいています。NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務
士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産鑑定士、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPな
どの専門家が参加しています。

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階 IP 050-7541-4799

電話番号011-204-6523, 011-242-4333 FAX番号 011-261-6524

通常業務時間10:00~18:00(土、日、祝日は休む時があります) **12月29日~1月4日お休み**

北海道NPOサポートセンター相談センター / 研修室 / 北海道介護NPO連絡会

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階 IP 電話 050-7543-3291

電話番号 011-271-5208, FAX番号 011-281-8807

通常業務時間10:00~18:00(月~土)(日、祝日休み) **12月29日~1月4日お休み**

引越し・旅行・車検のことなら**“札幌”はこび愛ネット**をご利用ください!ご存知かもしれませんが、飛んで
け!車いすの会をはじめ札幌チャレンジなど10団体ほどが参加しているもので、札幌さんの商品を利用して、「NP
Oサポセンに還元して!」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。**どうやって利用するの?**申し込みはとて
簡単。下記の**“はこび愛ネット”**推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サー
ビスは、引越し、旅行(札幌トラベル)、車検・自動車修理(札幌自工)と文房具(札幌商事)などの購入です(一部対象
外あり)。ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは 札幌**“はこび愛ネット”**推進事務局

TEL(011)251-4111内線250番 FAX(011)231-7063

書籍案内

『NPOの参考書』

NPO法人向け諸届け出ガイドブック
事務所に1冊必携のマニュアルです。

- ・ 設立登記（法務局）
- ・ 登記完了届（道庁）
- ・ 変更登記（法務局）
- ・ 事業報告書等の提出（道庁）
- ・ 任期満了に伴う役員の変更（法務局と道庁）
- ・ 任期途中の役員の変更（法務局と道庁）
- ・ 事務所移転（法務局と道庁）
- ・ 定款の変更（法務局と道庁）

諸届ひな型のCD付き

定価 2,100円（税込）

2005年5月28日発行

【問合せ】

北海道NPOサポートセンター
TEL 011-204-6523
FAX 011-261-6524
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



【福祉有償運送を2006年4月以降も
実施する予定のNPOのみなさんへ】

北海道移送・移動サービス連絡会（STネット北海道）
主催 移送サービス運転協力者講習会のご案内
この講習は、2004年3月に国土交通省が示した道路運送法80条に基づく法的位置づけ「NPO、社会福祉法人、市区町村社会福祉協議会などによる福祉有償運送の許可」（通称：ガイドライン）に示された講習会です。

札幌地区（定員60人） 申込〆切 1月20日
会場：札幌市北区北7条西5丁目千代田ビル11F

第1日 1月28日（土）9：30～16：30

第2日 1月29日（日）9：30～16：30

旭川地区（定員50人） 申込〆切 2月17日

会場：旭川市緑町14丁目 明成高等学校

第1日 2月25日（土）9：30～16：30

第2日 2月26日（日）9：30～16：30

内容

第1日 移送サービス 法律 福祉車両と点検
移乗動作介助 リスクマネジメント 適性テスト（筆記）

第2日 安全運転 情報交換 利用者理解 車いす・リフト操作（実技） 運転実技 振り返りと評価

参加費13000円（STネット会員10000円）

問い合わせ：STネット北海道

電話011-219-5687

FAX011-219-5688



NPOな...

書籍案内

『好きなまちで仕事を創る』

Address the Smile

地域に課題がある時、あなただけの仕事を創るチャンスがある！

徳島・上勝の「いろどり」、北海道グリーンファンド、SOHOしずおか、シアターキノ、ケア・センターやわらぎなど、32の仕事が地域の笑顔と結びついた瞬間を紹介。

豊富な事例の分析を基に好きなまちで仕事を創るための発想・視点・手法を解説。

あなたの気付いていない仕事の発想、仕事のスタイル、そして、あなたにしかできない仕事のヒントが、たくさん詰まっています。

全国書店で発売中。Webサイトでも発売

<http://smile.etic.or.jp/>

NPO法人 ETIC 編

発行 TOブックス 1,260円

ボラナビ.net



北海道を元気にする
ボランティア検索サイト

この冬のボランティア・イベントを
探すなら「ボラナビ.net」へGO

<http://www.npohokkaido.jp/volunavi.net/>

NPO法人 ボラナビ倶楽部

TEL/011-242-2042

FAX/011-242-2043

情報BOX

「映画」Marines Go Home
辺野古・梅香里・矢臼別
カラー2：11

北海道アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会(道
AALA)創立40周年記念映画。

人間として、ギリギリの声をあげようとする人たちに、逆
風が吹きつる。

勇気を試されるいやな「政治の季節」到来である。
しかし、何十年も見事にその志を守り、屈せずに生きてき
た人たちはいる。日本にも、韓国にも。

日時 2月11日(土)～17日(金)
毎日2回上映予定(9:30～18:15～)
シアターキノ(札幌市中央区狸小路6丁目南3グランドピ
ル2F 電話011-231-9355)

前売り1200円(当日1600円)シニア、学生、高校
生割引あり。

問い合わせ:上映実行委員会
電話011-747-0977

地域活動ふれあいフォーラム

“わっしょいボランティアまつり”

主催:札幌市在宅福祉活動団体連絡会
日時:2月25日(土)13:00～17:00
場所:札幌市ボランティア研修センター
札幌市中央区北1条西9丁目リンケージプラザ2階
内容:13:10～16:00
地域に根ざした子育て支援団体の報告
16:00～17:00 フリートーク

参加費:200円
定員:100名
申込〆切:2月16日(木)
申込・問い合わせ:連絡会事務局
電話:011-223-6005
FAX:011-261-8881

=====

助成金情報

下記の助成金情報については助成元からの依頼情報(抜
粋)です。インターネット環境にないNPOのみなさんに、
募集要綱などのFAXサービスを行います。(NPO推進北
海道会議または北海道NPOサポートセンター会員へのサ
ービスです。)

**(財)太陽北海道地域づくり財団
地域づくり助成**

1. 北海道の自然、歴史、文化、産業、生活など、次世代
に引き継ぐべき有形無形の財産の保全・活用を通じた地域
づくりの活動に対する助成。
2. 文化又はスポーツの振興を通じた地域づくりの活動に
対する助成。

平成18年度中に実施される大会、学会、セミナー、シン
ポジウム、現地見学会、体験学習会、イベント、PR資料、
地域固有の資源の補修・改修等

市町村、市町村と連携しながら地域づくり活動を実践す
る団体、その他

総額を年間1,000万円程度(10件程度)とし、助成
することを決定した活動毎に濃淡(助成上限額及び助成比
率)をつけて配分する。助成上限額は原則300万円程度。

活動団体の人件費などの管理費は認めません。
応募締切り日:2006年1月14日(土)
当日消印有効

申請書送付先 お問合せ先
(財)太陽北海道地域づくり財団事務局
担当:河野・山野
〒060-0061
札幌市中央区南1条西4丁目太陽ビル8階
電話:011(210)0311 ファックス:011(210)0916
Eメール:yamano@taiyogroup.jp

(財)北海道開発協会
平成18年度地域活性化活動助成募集のご案内
(財)北海道開発協会では、このたび平成18年度の地域活
性化活動助成にかかる活動を募集しています。

対象とする活動非営利の団体が実施する地域づくりの
企画、推進又は実施の活動で、以下の項目全てに合致して
いるもの

- * 地域の発展に貢献するもの
- * 地域の特性を生かすもの
- * 他の地域、民間活動のモデルとなるもの
- * 活動の継続性が見込まれるもの

申請受付の期限平成18年4月30日(当日消印有効)
助成額1団体1件当たり100万円以内(選考による)

申請書の提出とお問い合わせ先
住所〒001-0011札幌市北区北11条西2丁目
セントラル札幌北ビル
宛先 財団法人北海道開発協会企画広報部
お問い合わせTEL 011-709-5212
FAX 011-709-5225
E-mail pr-div@hkk.or.jp

生活クラブ生活協同組合では、地域限定(札幌・釧路周辺)
の福祉活動・事業への助成を行っています。詳しくは
ホームページをご覧ください。

問い合わせ:011-665-1717
=====

NPO法人 NPO推進北海道会議
代表理事 田口 晃 (北海学園大学教授)
杉岡 直人 (北星学園大学教授)
杉山さかえ (北海道グリーンファント`理事長)
事務局長 佐藤 隆

NPO法人 北海道NPOサポートセンター
理事長 杉山さかえ 事務局長 小林董信

NPO法人 北海道NPOバンク
理事長 杉岡 直人
NPOバンク事業組合 理事長 高木 晴光

NPO法人 北海道NPO越智基金
代表理事 田口 晃 事務局長 北村美恵子

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目
クワガタビル2F
TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524
E-mail npo@npo-hokkaido.org
URL http://npo-hokkaido.org/
相談センター/研修室
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目
札幌ビル8階 電話011-271-5208
FAX011-281-8807